

「財産収支状況書」の書き方

「財産収支状況書」は、猶予を受けようとする金額が100万円以下の場合に、猶予申請書に添付して提出する必要があります。
以下の記入例と説明をよく読み、記入してください。

※記入例

財産収支状況書

整理番号

申請書を提出する日を記入してください。

令和〇〇年 7月 20日

1 住所・氏名等

住所所在地	沖縄県名護市△△×-××-×	氏名称	名護 太郎
-------	----------------	-----	-------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		10,000 円	10,000 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他〔 〕
〇〇銀行 △△支店	普通	210,000 円	40,000 円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他〔 〕
××信用金庫 △△支店	当座	300,000 円	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他〔 〕
		円	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他〔 〕
現在納付可能資金額			50,000 円	

この金額は直ちに納付に充てることができる金額です。

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）

区分	見込金額
収入	
売上、給与、報酬	890,000 円
その他（ ）	円
① 収入合計	890,000 円
支出	
仕入	250,000 円
給与、役員給与	185,000 円
家賃等	70,000 円
諸経費	100,000 円
借入返済	65,000 円
	円
	円
生活費（扶養親族 2人）	180,000 円
② 支出合計	850,000 円
③ 納付可能基準額 （① - ②）	40,000 円

4 分割納付計画

分割納付金額	備考
8月 10,000 円	
9月 10,000 円	
10月 20,000 円	
11月 40,000 円	
12月 40,000 円	
1月 40,000 円	
2月 40,000 + 延滞金 円	
月 円	
月 円	
月 円	

猶予申請書の「納付計画」欄に転記します。

「③納付可能基準額」に記入した金額を分割納付金額として記入します。ただし、臨時的な収入もしくは支出がある月において、納付可能基準額よりも増額または減額した金額により納付する場合には、その増額または減額した金額を記入します。

【備考】生活費内訳
家賃45,000円+食費35,000円+水道光熱費15,000円+通信費12,000円+燃料費20,000円+教育費10,000円+病院代20,000円+自動車ローン23,000円

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A 建築株式会社	〇〇市△△町×-××-× 500,000 円	〇〇・8・25	売掛金	振込み
有限会社〇〇工務店	〇〇市△△町×-××-× 180,000 円	〇〇・9・10	売掛金	小切手
株式会社××ホーム	〇〇市△△町×-××-× 50,000 円	〇〇・10・7	貸付金	現金

(2) その他の財産の状況

不動産等	資材置き場用土地（〇〇市△△町××）	国債・株式等	△△株式会社（関連会社）未上場株式1株
車両	業務用車両1台 （ミニバン、△△330あ〇〇〇〇、ローンあり）	その他（保険等）	〇〇生命保険

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了（支払）年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	500,000 円	15,000 円	△△年3月	可・否	
〇〇銀行△△支店	3,500,000 円	50,000 円	△△年8月	可・否	資材置き場用土地

6 直前1年間における各月の収入及び支出の状況

年月	① 総収入金額	② 総支出金額	③ 差額(①-②)	備 考
5 〇年 7月	975,000 円	810,000 円	165,000 円	
〇〇年 8月	1,110,000 円	1,050,000 円	60,000 円	
〇〇年 9月	960,000 円	1,080,000 円	▲ 120,000 円	事業用車両故障につき、その修繕費として30万円の臨時的な支出があったため。
〇〇年 10月	850,000 円	800,000 円	50,000 円	
〇〇年 11月	1,050,000 円	800,000 円	250,000 円	
〇〇年 12月	980,000 円	950,000 円	30,000 円	
△△年 1月	970,000 円	850,000 円	120,000 円	
△△年 2月	940,000 円	930,000 円	10,000 円	
△△年 3月	955,000 円	980,000 円	▲ 25,000 円	
△△年 4月	930,000 円	900,000 円	30,000 円	
△△年 5月	970,000 円	1,020,000 円	▲ 50,000 円	事業用車両3台の車検費用として35万円の臨時的な支出があったため。
△△年 6月	780,000 円	750,000 円	30,000 円	

※ 各欄に記入しきれない場合は、適宜の用紙に記入して提出してください。